

令和 7 年度

「運営に関する計画」



大阪市立港晴小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立港晴小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「豊かな人間性を育み、明るく楽しくたくましく生きる子どもを育てる」を学校教育目標にさだめ「明るく、楽しく、たくましく」を校訓として日々の教育活動に取り組んでいる。

令和7年度の在籍児童数は146名で、昨年度とほぼ同等である。令和11年度の学校再編実施まで、学級数は各学年1学級での学校運営となることが推定されている。

安全・安心な教育の推進を図る指標として、「いじめ」の問題に積極的に取り組んでいる。「心の天気」や「いじめアンケート」による児童からの発信を受け止め、寄り添って声掛けをすることや、道徳科の授業などで児童への啓発活動を行ってきた。その結果、多人数に広がる「いじめ」の問題は発生していないが、いつ、どこで起きるかわからないという意識を常に持ち、教職員が共通理解を図りながら今後も取り組んでいきたいと考えている。

令和6年度の校内児童アンケートにおいて「港晴小学校のやくそくを守っていますか」の設問において、肯定的な回答の割合は91.7%であった。しかし、遊具の使い方や廊下・階段での歩行など、ルールを守ることができない児童もいるので更なる啓発活動が必要である。

学力の向上については、研究教科である道徳科を中心に教職員一同が一丸となって研究活動に取り組み、授業力の向上に努めてきた。また学力向上チーム支援事業(重点支援)の選定を受け、児童の学力向上に努めた。特に、放課後学習教室や長期休業中にはコラボレーターや学びサポーターを中心に児童の指導にあたってきた。その結果、令和6年度の大阪市学力経年調査では、全体の44.4%が標準化得点の市平均値(100.0)を上回り、経年比較において4～6年の23.1%の教科で昨年度の標準化得点を上回る結果となった。今年度も今までの取り組みを継続し、発展させていきたい。

体力の向上については、5月に実施した全国体力・運動能力調査で全国平均値を上回る種目が31.2%であった。これを受け、令和7年度も令和6年度と同様に、縄とび週間や大縄大会を設けることによって体力の向上を継続的に取り組んでいきたい。

学びを支える教育活動の充実においては、1人1台パソコンの活用が児童に浸透し、日ごろの教育活動の中で効果的に活用できるようになってきている。今後も広く実践事例を収集し、教職員間での情報共有を図ることで教育活動の更なる充実を図ってきたい。また、児童に学習の楽しさや達成感を味わわせることで、学習に対して取り組む姿勢を向上させていきたい。

教職員の働き方改革については、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合が100%となり、一定の成果を上げている。今後も継続して取り組んでいきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年向上させていく。
(R5 年度:88.2% R6 年度:91.2%)
- 校内児童アンケートの「学校が楽しい」の項目の肯定的な回答の割合を毎年向上させていく。
(R5 年度:86.4% R6 年度:87.5%)
- 校内児童アンケートにおける「災害が起こったときに、どうすればよいかわかりますか。」の項目について、肯定的な回答の割合 90%以上を維持する。
(R5 年度:97.3% R6 年度:95.8%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内児童アンケートの「学習はわかりますか」の肯定的な回答の割合を毎年向上させる。
(R5 年度:94.5% R6 年度:97.9%)
- 校内児童アンケートの「運動や遊びを進んでしていますか」の肯定的な回答の割合を毎年向上させる。
(R5 年度:86.4% R6 年度:86.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 校内児童アンケートの「1人1台パソコンを使って、学習がよくわかるようになりましたか。」の肯定的な回答の割合を 90%以上にする。
(R5 年度:90.0% R6 年度:91.0%)
- ゆとりの日を週に1回設定し、18時までには退勤する教職員の割合を 80%以上にする。
(R5 年度 3 学期:79% R6 年度 3 学期:80.0%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80.3%以上にする。【R6 年度:80.2%】
- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.3%以上にする。【R6 年度:80.2%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40.8%以上にする。【R6 年度:40.7%】
(単純 3 分割による計算で、R6 年度本校 37.6% (市 41.7%)
(現 4 年 31.6% (45.3%)、現 5 年 44.4% (41.4%)、現 6 年 36.8% (38.4%))
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65.8%以上にする。【R6 年度:65.7%】
(単純 3 分割による計算で、R6 年度本校 66.1% (市 70.7%)
(現 4 年 63.2% (73.5%)、現 5 年 66.7% (70.8%)、現 6 年 68.4% (67.7%))

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)【R6 年度:32.2%】
- ・ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合 100%を維持する。【R6 年度:100%】

※ 基準 2 1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、を全て満たす。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立港晴小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80.3%以上にする。【R6 年度:80.2%】 ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.3%以上にする。【R6 年度:80.2%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめのアンケート調査を定期的実施し、当該児童からの訴えを聞き取り、解決を図る。 (1-1 いじめへの対応)	
指標 ・ いじめのアンケート調査を年 3 回（6 月・10 月・1 月）に行う。	
取組内容② 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 全校での学校行事を定期的実施し、安心や安全について考え、集団生活や社会のルールを学び、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主性を促す。 (1-3 問題行動への対応)	
指標 ・ 全校で取り組む行事を年 3 回（5 月・6 月・12 月）に行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立港晴小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40.8% 以上にする。【R6 年度:40.7%】 (単純 3 分割による計算で、R6 年度本校 37.6% (市 41.7%) (現 4 年 31.6% (45.3%)、現 5 年 44.4% (41.4%)、現 6 年 36.8% (38.4%)) ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65.8% 以上にする。【R6 年度:65.7%】 (単純 3 分割による計算で、R6 年度本校 66.1% (市 70.7%) (現 4 年 63.2% (73.5%)、現 5 年 66.7% (70.8%)、現 6 年 68.4% (67.7%)) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>言語活動の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行う。 (4－1 言語活動・理数教育の充実（思考力・判断力・表現力等の育成）)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教員が年間 1 本以上の授業研究・公開授業を実施する。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>主体的に運動する習慣を身に付け、基礎的な体力・運動能力の向上を図る。 (5－1 体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が運動に楽しく参加できる取組・企画を年間 2 回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立港晴小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)【R6 年度:32.2%】 ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合 100 % を維持する。【R6 年度:100%】 <p>※ 基準 2 1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2 ～ 6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、を全て満たす。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6、教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>心の天気を活用し、児童の心の状態の移り変わりを把握する。</p> <p style="text-align: right;">(6-1 ICT を活用した教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の心の天気の入力等で、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>ゆとりの日を設定し、教員の超過労働を解消する。</p> <p style="text-align: right;">(7-1 働き方改革の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 100 % 以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	